



第2回「合同研究会」を開催しました！

- コミュニティを中心とした地域運営体制づくりに向けて、モデル地区（緑陽、渡内、富木島ふれあい、加木屋）の4つのコミュニティの組織体制や活動内容等を知ること、新たな気づきを得るとともに、課題解決の方策について考えることを目的として、「合同研究会」を開催しました。
- 第2回では、各コミュニティの組織体制や運営方法について、第1回で出された質問に対する回答の共有と持続可能な地域運営体制づくりに向けた取り組みや工夫について、意見を出し合いました。

【日 時】令和7年1月24日（金）午後7時～午後9時
 【会 場】富木島公民館
 【参加者】11名
 （緑陽2名、渡内3名、富木島ふれあい3名、加木屋3名）



コミュニティが抱える課題（悩み）の解決策をみんなで考える

- 渡内コミュニティと富木島ふれあいコミュニティが抱える課題（悩み）を共有し、課題解決に向けて取り組んでいることや新しいアイデアなどを出し合いました。

	渡内コミュニティ	富木島ふれあいコミュニティ
課題（悩み）	■ 役員の高齢化に伴う「部員（活動の実行チーム）」の担い手不足 ■ コミュニティを休会する町内会・自治会の連鎖	■ 子どもの会の休会をきっかけとした、子どもに関する取組と、その運営体制の検討
解決策（案）	■ 役員経験者等で構成される、アドバイザー制度を強化（育成、増員等）していく	■ 富木島地区のすべての子どもを対象に、運営を各子ども会の役員に任せるとはならず、オールボランティアによる仕組みを検討中
他のコミュニティからの解決策（案）やアイデア	■ 広報誌をカラー化し、地域行事の情報を分かりやすく住民に伝えている[緑陽] ■ チーム緑陽（シニア世代）や日曜日のパパ（子育て世代）等の協力団体が地域活動を盛り上げている[緑陽] ■ キッチンカーを導入し当日の負担軽減を図る[加木屋] ■ キッチンカーではなく、町内会・自治会が出店することで仲間意識を高めている。[富木島] ■ 部員を4分の1程度減らし、人数に応じた無理ない運営方法を検討中[富木島]	■ 子ども会休会後の対応として、子ども会やコミュニティ役員が話し合いを重ね、任意団体「わたうちきやんぱす」を立ち上げた。試行的でドッチボール大会を実施[渡内] ■ 子どもやその家族などを対象に地元農家などと連携していちご狩りや星空観察会をコミュニティ主催で実施[渡内] ■ ふれあいまつりのブースの運営を子ども会に委託し、資金面で支援している。コミュニティの思いと子ども（会）のニーズには乖離があるため、話し合いを重ねたことで子どものニーズに合った企画となり大盛況[渡内]

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連 絡 先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526、7527
0562-38-6141、6142

Email

chiiki@city.tokai.lg.jp